

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 2 回 上溝地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)		中央区役所 上溝まちづくりセンター 電話 042-762-5626 (直通)		
開催日時		令和 5 年 9 月 5 日 (火) 19 時 00 分 ~ 20 時 25 分		
開催場所		上溝公民館 大会議室		
出席者	委員	14 人 (別紙のとおり)		
	事務局	2 人 (上溝まちづくりセンター所長 他 1 名)		
公開の可否		可	不可	一部不可
		傍聴者数	0 人	
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 (1) 地域活性化事業交付金について (2) まちづくりを考える懇談会について (3) 上溝まちづくりビジョンについて 4 閉会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

1 開会

2 会長あいさつ（小林会長）

3 議題

（１）地域活性化事業交付金について

「高齢者の安全・安心な暮らしを支える事業」について

（上溝地域包括支援センター所長 佐藤浩史）

前回のまちづくり会議で意見聴取の上、採用すべき案件として認められた「高齢者の安全・安心な暮らしを支える事業」について、事業の進捗状況報告があった。

「（仮称）さくら公園イルミネーション事業」について

（上溝地区自治会連合会 副会長 亀崎 武）

まちづくり会議でも以前から具体的に進めていこうとの意見が多かった「（仮称）さくら公園イルミネーション事業」について、年度内の実現に向けて、8月末に上溝南高校の先生と打ち合わせを行った。

イルミネーションの点灯式を12月16日（土）に開催できればと考えている。さくら公園をイルミネーションでどのように飾り付けるかなど、9月中を目途に上溝南高校の学生さんにアイデアを考えてもらうこととなった。

本事業は、地域活性化事業交付金制度を活用して実施を考えており、これから上溝南高校の皆さんと事業内容を徐々に具体化していき、申請手続きの上、次回のまちづくり会議で事業内容について説明を行えるように準備を進める予定。

（２）まちづくりを考える懇談会について

小林会長より、上溝まちづくりビジョンに基づく事業の推進などの身近な取組みに力を注ぐことを優先することとし、今年度の「まちづくり懇談会」については、実施を見送ることとしてはどうかとの提案があり、承認された。

（３）上溝まちづくりビジョンについて

前回に引き続き、上溝まちづくりビジョンに基づく事業提案について資料のとおり説明し、具体的な事業提案について、3班に分かれ、グループワークを行った。時間の範囲内で話し合った内容について各グループから発表された。

< 主な発表事項 >

1 班

・「高齢者の安全・安心な暮らしを支える事業」について話が発展し、もっとこうしてみてもどうかという意見が出た。現在進めようとしている「高齢者の安全・安心な暮らしを支える事業」は、1人で抱えきれない問題がある高齢者とプレート掲げて見守りをする個人宅や施設とをつなぐ仕組みだが、その枠をもっと広げてはどうか。子供や障害者、高齢者などすべての人々に優しいまちを上溝地区は目指していきたいので、見守る側も見守られる側について、子供や障害者、幼稚園・保育園などへ幅広くするように改訂する案がでました。

実現するには大変だが、非常に良い提案。(2班コメント)

2 班

・子育て世代が参加しやすいイベントとして、「商店街シャッターアート」の開催をしてはとの意見が出た。父兄の方々も参加いただき、小・中学生にシャッターにペンキを綺麗に塗ってもらい、新たなシャッターに描くデザインは公募で選出、高校生や大学生にその選出されたデザインを実際にシャッターに描いてもらう。

・上溝に校舎のある高校(上溝高校・上溝南高校)と商店街とのコラボレーション事業を実施したい。例えば、各校の文化祭を商店街で実施、クラスや部活動ごとに商店街に出店するといった形で、上溝商店街を1日ジャックしてみるのも面白いのではないかと。開催できれば、街歩きのきっかけにもなり、高校と商店街の良い交流の機会ともなる。

商店街シャッターアートも地元の高校とのイベントも地域に根差したもので、愛着が醸成されることに繋がる。高校生の若い世代のエネルギー絶大なので、1 + 1 = 2ではなく、3以上の効果が期待できるのではないかと。(3班コメント)

3 班

・子供が考えて実施する祭りはどうか。高校生をリーダーに中学生や小学生をメンバーに子供たちが企画運営をする。子供たちが考えて進め、大人がサポートする。子供たちがやることで、自然と親世代も巻き込んでいける。2班の発表にもあったが、商店街でやれたら良いのではないかと。

・前年度の地域活性化事業交付金事業で作成された「上溝かるた」が好評なの

で、かるた大会の開催を提案したい。実際に、最近、包括支援センター関連で地域で高齢者や小学生がそれぞれ集まる機会に、このかるたを使って遊ばせてもらったことがあったが、世代を問わず楽しんでいる様子で大変盛り上がった。加えて、かるたの読み札が地域のことを学べる内容なので、そうしたツールとしても非常に有効だと感じた。

上溝かるたは確かに好評だと聞いているが、高齢者の方々には、少し文字が小さく見えづらく、やっけていても疲れてしまうという声があるそうです。

そうした声も受けて、かるたの大きさを2倍近くにしたものを作れないかという話が出ており、包括支援センターが現在対応を模索してくれているようです。また、今年実施には至ってないですが、老若男女を関係なく参加してもらえ、「かるた大会」を体育館などでやりたいという意見も出ているみたいですので、ゆくゆくは開催をできたらと思います。(1班コメント)

4 閉会(鈴木副会長)

以 上

令和5年度 第2回上溝地区まちづくり会議 委員名簿

団体等名称	役職名	氏名	出欠席
上溝地区自治会連合会	会長	小林 充明	出席
	副会長	亀崎 武	出席
	副会長	迫 加津旺	出席
上溝地区社会福祉協議会	会長	永野 堅次	出席
上溝地区民生委員児童委員協議会	会長	桑水流 良光	欠席
上溝公民館	館長	根岸 利昌	欠席
上溝小学校PTA	副会長	鈴木 優二	欠席
上溝南小学校PTA	副会長	小山 龍次	欠席
上溝中学校PTA	会長	藤田 寛之	欠席
上溝南中学校PTA	会長	舩木 杉頼	欠席
上溝地区青少年指導委員協議会	青少年指導委員	吉澤 健次	出席
上溝地区スポーツ推進委員		安藤 政彦	出席
上溝地区老人クラブ連合会	会長	新田 恭一郎	出席
上溝地区ボランティアグループ	代表	雫 幸一	出席
相模原市消防団中央方面隊第一分団	分団長	久保田 充	出席
交通安全協会上溝支部	副支部長	中野 正	欠席
防犯指導員		萩原 昭夫	欠席
防災専門員		中村 秀夫	出席
上溝商店街振興組合	理事長	鈴木 崇之	出席
上溝地域包括支援センター	副理事長	小松 靖和	欠席
	センター長	佐藤 浩史	出席
上溝みらい創生委員会	事務局長	大野 健一	欠席
上溝南高等学校	校長	坂本 聡志	出席
相模原中央保護区保護司会	会長	清水 洋子	出席